

まちづくり
コミュニティ

支援交流館

なからいとうすい

(通称：半井桃水館) ~ 巖原町中村地区にオープン ~

巖原町中村地区の半井桃水生家跡地に建設されていた「まちづくりコミュニティ支援交流館」(通称：半井桃水館)がこのほど完成。7月15日、開館を祝おう会主催によるオープニングイベントが行われました。

当日館内のホールでは、ソプラノ歌手によるコンサートや巖原中学校プラスバンドの演奏会などが催され、多くの来館者とともに開館を祝いました。

同交流館は、木造2階建てで総工費約1億3千万円。館内にはホールや和室、茶室などの他に、半井桃水や明治時代に美人写真コンテストで2位になったほどの美貌の持ち主「洗い髪のお妻」など地元の有名人をパネル等で紹介する展示室も設けられております。

今後この施設は、住民の地域活動や教育、観光、社会教育の拠点として広く市民に利用される予定です。



展示室

ホールで演奏を行う
巖原中プラスバンド



なからいとうすい

半井桃水 (1860 - 1926)：巖原町生まれで新聞記者や大衆小説家として活躍。父の仕事のため少年期を釜山で過ごし韓文化の影響を受ける。10代の中頃上京し京都や大阪で記者として活躍。また大阪朝日新聞社より海外特派員第1号として渡韓。帰京後、新聞で小説を発表し流行作家となる。代表作「胡砂吹く風」「天狗廻状」など。また、樋口一葉の小説の師でもあった。

7月7日、対馬市商工会青年部による「若い経営者の主張大会」が対馬市商工会美津島支所で行われ、各支部の代表6名が青年部活動や地域振興のあり方について、次世代を担う若者らしい観点で意見を発表を行いました。

発表時間は1人10分。審査基準は内容や構成、表現力、態度など。6名の発表者は経済的な冷え込みが続く厳しい対馬の現状を訴えると同時に、地元の将来を自分たちで何とかしようという意気込みが溢れた素晴らしい内容を、力強く発表していました。

見事最優秀に輝いたのは、美津島支部の佐伯卓也さん(27歳)。佐伯さんは大学を卒業し、福岡でスーパードに勤



最優秀賞を獲得した
佐伯卓也さん

対馬市商工会青年部
若い経営者の主張大会



務した後、地元に戻ってきて約1年半。現在、父の経営するスーパーで働いています。

発表「青年部活動と地域振興・まちづくり」の中で、「島を大切に思う心が街づくりの第一歩。その心を大切にみんなが力を合わせて、豊かで美しい島をつくりましょう」と主張しました。

県大会は9月7日、長崎市で開催される予定で、対馬代表として佐伯さんが出場します。ご健闘をお祈りいたします。

その他、優秀賞には上県支部の系瀬雅之さんと、峰支部の鍵本尚弥さんが選ばれました。



新
人権擁護委員に
美佐保翼さん
が就任

(厳原町小茂田)

市の人権擁護委員に美佐保翼さん(64歳)が就任しました。

美佐保さんは元教諭で、昭和37年に美津島町の養和小学校へ赴任後、峰町の志多賀小学校では教頭として勤務され、その後南高来郡加津佐町の山口小学校、上対馬町の豊小中学校、厳原町の金田小学校では校長として活躍されました。

任期は、平成18年7月1日から平成21年6月30日までの3年間です。

人権擁護委員は、国民の基本的人権の監視、救済などの処置、人権思想の普及高揚などを使命とし法務大臣より委嘱されます。

なお、対馬市全体で現在11名の人権擁護委員さんが活躍しています。



市役所前での出発式の様子

「犯罪・非行の防止、
更正の援助」を呼び掛け！
社会を明るくする運動

毎年7月は法務省が提唱する『社会を明るくする運動』の強調月間として、罪を犯した人達の更生について理解を深め、青少年が犯罪の道に進まないよう地域ぐるみで子ども達を守ろうとする運動が全国的に展開され、今回で56回を迎えます。

7月3日、対馬地区保護司会の小山博会長をはじめ6名の保護司の出席のもと、同運動の出発式が行われました。小山会長は出発式の中で、県内でここ数年立て続けに起こった児童による悲惨な殺人事件にふれ、「長崎県でも犯罪や非行が多い都市が増えて



啓発活動の様子
(7月3日、豊玉町仁位)

きた。お互いに被害者・加害者の立場にならない社会をつくるために、私たち保護司会も行政との話し合いを続けながら、地域社会を明るくするものにして行きたい」と決意を述べました。

前人権擁護委員
平山三智子さんへ感謝状

(厳原町久田道)



平成8年12月から9年7ヶ月にわたり、旧厳原町及び市の人権擁護委員として活躍されてきた平山三智子さんが6月30日付けで退任され、これまでの功績に対し法務大臣より感謝状が贈呈されました。

= 夏の交通安全県民運動 =



7/13 交通安全パレード(豊玉町仁位)



7/15 さわやか作戦(厳原町棧原)

「夏の交通安全県民運動」が7月10日から19日までの10日間にわたり展開されました。市内の各地では、交通安全協会や母の会などによる「さわやか作戦」や交通安全パレードなどが実施され、ドライバーに安全運転を呼び掛けました。

海の安全に貢献

海上保安庁表彰



前列左から武末さん、山田さん、阿比留さん、修行さん、今村さん

7月17日の海の日に合わせて、海上保安思想の普及など、多年に渡り海上保安業務に貢献された方々に対する表彰式が比田勝海上保安署で行われました。今年、表彰を受けたのは次の方々です。

- 海上保安庁長官表彰
武末清太さん(上対馬町比田勝)
- 山田 明さん()
- 第七管区海上保安本部長表彰
阿比留富士雄さん(峰町青海)
- 海上保安協会門司地方本部長表彰
井上淳輝さん(峰町志多賀)
- 修行孝佳さん(上対馬町比田勝)
- 今村純一さん()

比田勝小4年生が環境学習

比田勝海上保安署



比田勝小学校4年生のみなさん

7月4日と7日、比田勝海上保安署による海洋環境教室及び漂着ごみ調査が実施され、比田勝小学校4年生の生徒27名が参加しました。

海洋環境教室では、海の環境破壊に関する犯罪や対馬の海洋環境に関することについて、署員が資料や海図を用いながら解説しました。また、三宇田浜海水浴場で実施された漂着ごみ調査では、署員の補助を受けながら児童自ら漂着ごみ約50kgを回収しました。

上高生が

海上保安官を体験



体験航海で巡視艇を操船

7月5〜7日、上対馬高校2年生の3名(宮原慎司くん、武本龍太郎くん、堀江和博くん)が、比田勝海上保安署で職場体験学習を行いました。

制服に身を包んだ3名は、仕事についての講話を受講後、巡視艇の業務説明、指紋採取の実習のほか、巡視艇「あきぐも」による体験航海では操舵を握っての操船やレーダーを見たり、双眼鏡を片手に見張り等を体験しました。職場体験を終えた3人は、「よい経験になりました。海上保安庁の仕事は色々あるこ

とをはじめて知りました」と話していました。

巡視艇「あきぐも」の吉津卓夫船長は「元気があって飲み込みがはやい。ぜひ未来の海上保安官にしたい」と話していました。

海水浴場海開き

無事故を願い安全祈願



尾浦海水浴場での安全祈願の様子

本格的な海水浴シーズンの到来を前に、各地の海水浴場では海開きが行われました。

海水浴客の多さでは、対馬で1、2を争うという厳原町の尾浦海水浴場(青潮の里)では7月9日、対馬観光物産協会厳原支部の主催により海

開きが行われました。

前日の大雨がうそのように晴れた天気となった当日、海岸では悲惨な海の事故が起きないよう安全祈願が行われるとともに、対馬海上保安部による水難救助や、市消防本部及びボランティアで参加した応急手当普及員の中島美香さんによる救命講習が実施されました。

夏の海水浴は楽しいものですが、危険と隣り合わせであることもまた事実。出席した同支部の会員らは、真剣な表情で講習を受けていました。



人工呼吸法の指導をおこなう
応急手当普及員の中島美香さん
(右端)

7月1日、対馬森林組合の職員20名が厳原町今屋敷の



石垣 きれいに
なりました
森林組合職員が草刈りボランティア

金石城址石垣と金石川の草刈りボランティアを行いました。降雨のため増水したお堀（金石川）に降り立ち、はしごを立てかけ草をなぎ払いながら移動していく早さはさすが林業のプロ集団。腰まで水につかる悪条件のなか9時から正午までの短い間に、万松院から県立対馬歴史民俗資料館までの約350mの雑草を刈り取りました。刈り取った量は2トントラック5台分に及びました。

また、対馬高校から漁火公園までの間の観光道路の街路樹の下刈りも行いました。

除草作業に励む森林組合員のみなさん



対馬森林組合による石垣の清掃は、昨年到现在2回目になります。

みなさんのご協力に感謝します。

対馬時計商組合へ感謝状

市内の幼稚園・保育園へ掛け時計30個寄付



感謝状を受け取る鍵本組合長

6月10日は時の記念日。子どもたちに「時間の大切さ」を知ってもらおうと、毎年この日に市内の幼稚園や保育所に掛け時計をプレゼントしている対馬時計商組合（鍵本俊雄組合長）に、対馬市から感謝状が贈られました。

同組合による掛け時計のプレゼントは、平成14年に始められ毎年6施設に贈られてきました。5年目を迎えた今年で累計30個となり、これで市内のすべての幼稚園、保育所に行き渡ったこととなります。温かい善意に感謝いたします。

なお、同組合では今後も時計の寄付を続けていくそうです。

市職員ら80名が
井口浜海水浴場を清掃



7月15日、上県町佐護の井口浜海水浴場で、地元上県支所の市職員を中心に約80名が海岸漂着ごみ清掃を実施しました。

この日は30度を超える暑い日となりましたが、発砲スチロールやプラスチック容器等2トントラック7台分の漂着ごみを回収しました。

ごみのない美しい対馬の海岸を守りたいものです。

市長の動き

《7月》

- 2日〓 国境マラソンIN対馬
- 2〓4日〓 蔚山郡守就任式（釜山）
- 7日〓 市商工会青年部若い経営者の主張大会・市政説明会（加志々）
- 10日〓 佐須坂トンネル整備期成会第2回理事会
- 12〓13日〓 全国市長会理事・評議委員会合同会議（東京）
- 14日〓 対馬栽培漁業振興公社理事会・評議会、災害見舞い（厳原管内）
- 18日〓 企業誘致関係用務（福岡）
- 19日〓 鳥栖市長訪問（鳥栖市）
- 20日〓 県戦没者慰霊奉賛会評議員会（長崎）
- 21日〓 「対馬フェア」（東京）
- 24日〓 対馬流域森林・林業活性化センター総会、対馬林業公社理事会・総会
- 25日〓 県中学校総合体育大会結団式
- 27日〓 九州地区漁港漁場大会（長崎）
- 29日〓 陸自対馬駐屯地納涼盆踊り大会
- 31日〓 県離島医療圏組合対馬市3病院経営委員会